

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 0 回玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会																																																				
開 催 日 時	平成 2 9 年 2 月 2 日 (木) 1 9 時 0 0 分～																																																				
開 催 場 所	玉里保健センター 1 階 集団検診室																																																				
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>石塚 匡巳</td> <td>山崎美奈子</td> <td>小松与士宏</td> <td>中村 仁樹</td> </tr> <tr> <td>陽美美由紀</td> <td>小松崎由美子</td> <td>宮本真由美</td> <td>額賀 博</td> </tr> <tr> <td>長谷川美智子</td> <td>大山 徳</td> <td>小林 文雄</td> <td>塚本 繁雄</td> </tr> <tr> <td>圓尾 康子</td> <td>林 憲昭</td> <td>笹目 賢一</td> <td>羽鳥 文雄</td> </tr> <tr> <td>園部 文夫</td> <td>田中 周</td> <td>鶴町 文男</td> <td>関 四郎</td> </tr> <tr> <td>田上 義明</td> <td>亀井 優</td> <td>菊地 和夫</td> <td>藤田 泰正</td> </tr> <tr> <td>大和田智弘</td> <td>戸田 見成</td> <td>大槻 良明</td> <td>荒井 敦</td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>瀬畑 誠</td> <td>田山 憲一</td> <td>小山田香代</td> <td>久保田浩一</td> </tr> <tr> <td>遠藤 康子</td> <td>箱田 俊男</td> <td>山口 淳</td> <td>小暮 真一</td> </tr> <tr> <td>戸田 大我</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>長谷川正典</td> <td>石田 進</td> <td>中村 均</td> </tr> <tr> <td>吉永 成範</td> <td>比気 龍司</td> <td>植田 薫</td> <td>外之内信浩</td> </tr> <tr> <td>戸塚 聡</td> <td>田村 直弥</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	石塚 匡巳	山崎美奈子	小松与士宏	中村 仁樹	陽美美由紀	小松崎由美子	宮本真由美	額賀 博	長谷川美智子	大山 徳	小林 文雄	塚本 繁雄	圓尾 康子	林 憲昭	笹目 賢一	羽鳥 文雄	園部 文夫	田中 周	鶴町 文男	関 四郎	田上 義明	亀井 優	菊地 和夫	藤田 泰正	大和田智弘	戸田 見成	大槻 良明	荒井 敦	瀬畑 誠	田山 憲一	小山田香代	久保田浩一	遠藤 康子	箱田 俊男	山口 淳	小暮 真一	戸田 大我				加瀬 博正	長谷川正典	石田 進	中村 均	吉永 成範	比気 龍司	植田 薫	外之内信浩	戸塚 聡	田村 直弥		
石塚 匡巳	山崎美奈子	小松与士宏	中村 仁樹																																																		
陽美美由紀	小松崎由美子	宮本真由美	額賀 博																																																		
長谷川美智子	大山 徳	小林 文雄	塚本 繁雄																																																		
圓尾 康子	林 憲昭	笹目 賢一	羽鳥 文雄																																																		
園部 文夫	田中 周	鶴町 文男	関 四郎																																																		
田上 義明	亀井 優	菊地 和夫	藤田 泰正																																																		
大和田智弘	戸田 見成	大槻 良明	荒井 敦																																																		
瀬畑 誠	田山 憲一	小山田香代	久保田浩一																																																		
遠藤 康子	箱田 俊男	山口 淳	小暮 真一																																																		
戸田 大我																																																					
加瀬 博正	長谷川正典	石田 進	中村 均																																																		
吉永 成範	比気 龍司	植田 薫	外之内信浩																																																		
戸塚 聡	田村 直弥																																																				
内 容	・施設整備方針・配置構成計画について（グループ協議）																																																				
会 議 資 料	別 紙 （ 会議次第、 他 ）																																																				
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																				
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0人)																																																				

【協 議】

(1) 施設整備方針・配置構成計画について（グループ協議）

委員長 本日の議事については、まず事務局より資料についての説明をいただく。その後「施設整備方針・配置構成計画について」各小学校区ごとにグループ協議をしていただきたい。協議は、30分程度を予定している。グループ協議の進行は各小学校の教頭先生、記録と発表は教務主任の先生にお願いしているので、よろしくお願ひしたい。本日のまとめとしては、配置案をどれにするかといったところまでを決めていきたいと思う。そうでないと、事務局で今後の流れが滞ってしまうということがあるので、よろしくお願ひしたい。本日はそういった流れでお願ひしたいと思う。

それでは、まず事務局より資料の説明をお願ひしたい。

事務局 本日の協議事項と現在の進捗状況について説明させていただく。まず、参考資料1をご覧ください。この表は、左側の網掛け部分が基本構想の項目、右側がこれまでの協議内容と今後のスケジュール案となっている。上から見ると、基本構想内容「1. 基本構想策定の背景」、「2. 玉里地区における小中一貫教育の計画」。こちらは11月の第8回準備委員会で決定している。「3. 基本構想」については、現在も協議中のものとなっている。第7回準備委員会、9月においてアンケート内容の協議、10月にアンケートを実施した。第8回準備委員会、11月においてアンケート集計結果を提示。第9回準備委員会、前回の準備委員会ではアンケート集計結果に基づいた施設整備方針と配置構成計画の案を提示した。そして、今回の第10回準備委員会では、施設整備方針と配置構成計画についてのグループ協議を予定している。後ほど説明するが、前回の準備委員会でいただいた意見や学校現場の意見を基に資料の追加等を行っている。その資料から協議を行っていただきたいと思う。次回、第11回準備委員会は2月下旬を予定したいが、今回の準備委員会を受けての修正案と平面構成計画の案を提示したいと思う。平面構成計画については、配置構成計画と同じように学校現場の意見を基に作成したものを提示したいと考えている。「4. 工事費概算」、「5. スケジュール」については後ほど説明させていただく。また、「6. 今後の検討課題」については次回の準備委員会で提示したいと考えている。そして、第12回準備委員会において、基本構想の完成版の配布、今年度の総括及び来年度についてとしていきたいと考えている。

事務局 本日の資料、前回の第9回準備委員会からの変更点、追加資料について説明したい。資料1「施設整備方針（案）」は変更はないので、資料2「配置構成計画（案）」から見ていただきたい。「②配置計画の概要、②配置案の基本的な考え方」については、学校長と2回の打ち合わせを行ない、教育を行なっていく上での視点から考え方を改めて整理した。「グラウンドや体育館での集会や体育の授業などの移動時間に配慮し、同一敷地内で移動ができる

よう校舎を配置します。」「玉里中学校の体育館は、比較的新しいため、体育の授業、式典などに利用します。低学年児童の体育の授業は、新たに小規模体育館を建築し、無理のない時間割ができるようにします。」「学習環境に影響が出ないよう、仮設校舎を極力使用しない計画とします。」「教育活動、運動、安全等に留意した必要十分な大きさの校舎等を配置します。」「来客用の必要台数を備えた駐車スペースを配置します。」「児童生徒が十分に運動できるグラウンド（200mトラック程度）を配置します。」「安全性に配慮した登下校動線を計画します。」「児童生徒の利用に的確な距離となる校内動線を計画します。」、以上を配置案の基本的な考え方として、改めて整理した。

続いて、「**③**配置案」は前回の準備委員会で提示したAの増築案の2案とBの新築案の3案、計5案と前回の準備委員会で意見いただいた玉里小学校側に新校舎を建設した場合の案、C案を新たに追加した。6案で体育館の施設利用を表で整理した。A案、B案はともに校舎が玉里中学校側に位置することから、玉里中学校の既存体育館と、「基本的な考え方」で触れた新しく建設する低学年用の小体育館、2つの体育館を利用する案とした。C案については、配置案の図で説明したい。次ページ以降が配置案の図となる。次ページ、A4用紙の上下段にあるものが増築案のA案となっている。その次のページ、A3用紙に4案が示されているものは、B案とC案となっており、右下がC案となっている。A案、B案はともに前回から変更はないので、C案のみ説明したい。C案は、玉里小学校のグラウンドを校舎計画エリアとしている。青で示した体育館は玉里小学校及び玉里中学校の既存体育館を利用する計画とした。また、グレーで示した駐車エリアは各々の体育館周辺、赤色で示したグラウンドスポーツエリアを新校舎の北側と現玉里中学校のグラウンドに配置、緑色で示した駐輪エリアを校舎の南側、紫色で示した遊具エリアを校舎の北側に配置する計画とした。新校舎の建設位置については校舎計画エリアとして記載しているが、次年度以降、基本設計の中で改めて校舎の形状等について検討していくことになる。新校舎の具体的な位置は、その際に改めて検討していくことになるので、現在の校舎計画エリアはおおよその位置として理解いただきたいと思う。

続いて、資料3「配置比較表」について説明したい。前回の委員会で建設関連の費用についての意見をいただいたので、右の列に経済性の項目を加えた。その詳細については、参考資料2「工事費概算表」で説明したい。その他の項目及び内容については、A案、B案ともに変更はない。追加で示すC案については、一番下の行を配置案の図と併せて確認いただきたいと思う。まず、「動線の確保」はメインの玉里中学校側の体育館やグラウンドへの移動動線が長くなることから、評価としては△としている。次に、「グラウンド環境」は、玉里中学校側に200mトラックを確保できるものの、玉里小学校側グラウンドは校舎の北側になり、日照影響があることから、評価とし

ては○としている。「施工性」は、既存の玉里小学校への騒音や日照への影響が出ることと併せ、校舎建築中に小学校側グラウンドが使用できないため、評価としては△としている。「周辺への影響」は、敷地外への日照影響等は少ないものとし、評価としては○としています。

続いて、資料4「整備スケジュール」について説明したい。上から順に説明したい。併せてスクリーンをご覧いただきたい。A案の増築案は、平成31年度から平成32年度にかかる約1年間で普通教室や管理諸室となる校舎を建設し、併せて平成32年度の約半年間で小体育館を建設する。また、平成32年度末には、特別教室棟として想定される仮設校舎を設置する。平成33年度には、特別教室棟として想定される現玉里中学校の校舎の改修工事を約10ヶ月かけて整備する。平成34年度に使用開始となり、外構工事を行なう。平成35年度には玉里小学校の校舎を解体するスケジュールとしている。続いて、B案の新築案は、平成31年度から平成32年度の約1年4ヶ月で新校舎を建設し、併せて平成32年度の約半年間で小体育館を建設する。平成33年度に新校舎が使用開始となり、外構工事、渡り廊下の設置工事を行なう。平成34年度には玉里小学校の校舎を解体するスケジュールとしている。最後にC案の玉里小学校側の新築案は、平成31年度から平成32年度の約1年4ヶ月で新校舎を建設し、併せて平成32年度には敷地間を結ぶ橋上通路の工事を行なう。平成33年度には新校舎が使用開始となり、外構工事、渡り廊下設置工事を行なう。平成34年度には玉里中学校の校舎を解体するスケジュールとなっている。

最後となるが、先ほどの建築概算事業費の部分、参考資料2「概算表」をご覧いただきたい。列にA案からC案を記載し、行に各工種別の概算工事費を記載している。概算工事費を上から順に見ていくと、校舎の新築工事として、増築案のA案は約10億円、新築案のB案とC案は約18億円が見込まれる。次の大規模改造工事費は玉里中学校の既存校舎の改修費だが、増築案のA案は約3億5千万円を見込み、B案とC案は既存校舎の利用はないため、工事費の記載はない。続いて、解体工事費。A案は現玉里小学校の校舎の解体工事費として約5千万円、B案とC案は現玉里小学校の校舎に加えて現玉里中学校の校舎の解体工事費が上乘せされ、約1億2千万円が見込まれる。続いて、付帯工事費は既存体育館までの渡り廊下の工事費だが、A案は既存利用のため、費用の記載はない。B案は約2千万円が見込まれる。C案の上段は玉里小学校と玉里中学校までの渡り廊下の工事費として、約3千5百万円、下段は市道玉1号線の上空の橋上工事費として、1億2千6百万円が見込まれる。続いて、小体育館。A案とB案では、約1億7千万円が見込まれる。C案は既存体育館の利用を見込むので、工事費の記載はない。次の仮設校舎のリース費用は、現玉里中学校の校舎の大規模改修工事期間中の費用として、A案で約1億2千万円が見込まれる。総事業費は、A案が約17億円、B案とC案は約21億円が見込まれる。国庫補助金は文部科学省からの補助

金を記載している。基本的には児童数に応じて校舎や体育館の不足面積分に対して補助が行なわれるものとなっているが、制度上の制限があり、それぞれの案で金額に違いがある。一番下の行にある市負担額は総事業費から補助金の額を差し引いた金額となっている。C案は、校舎建築中に小学校側のグラウンドが使用できないといったことを解消するため、例えば小学校の敷地を拡張して校舎を建設、もしくはグラウンドを整備した場合、用地の取得費が事業費に加算されることとなる。

委員長 事務局からの説明を受け、各グループで意見交換をお願いしたい。「施設整備方針・配置構成計画」とあるが、主に配置案をグループでまとめていただきたいと思う。では、各小学校の教頭先生、司会進行をお願いしたい。

グ ル ー プ 協 議

委員長 それでは時間となったので、各グループで発表をしていただきたいと思う。玉里小学校区のグループからお願いしたい。

委 員 まず、教育の基本構想について意見があった。これから子供達は未来に向かって生きていくので、情報や国際社会などに関する具体的な目標が入っても良いのではないかと。また、地域とともに育む学校として、地域との交流をするような設備の充実も必要ではないかという意見があった。また、「③玉里地区の自然環境と共存する学校」について、霞ヶ浦が近くにあるので、そういった特色を生かした教育の場、例えば水族館のような、霞ヶ浦に生きている魚が見られるといった教育環境があっても良いのではないかと、そういった自然の豊かさを現場に取り入れることを考えてほしいという意見があった。「④安全性に配慮した安心できる学校」について、安全が一番大事なことであり、安全教育の充実も入れてほしいという意見があった。

次に配置構成計画について。玉里小学校区ではC案、現在の玉里小学校側に校舎を建てる案は、色々な面で不便ではないかということになり、A案とB案で話し合いが進んだ。A-①案、現在の校舎に増築する場合は、グラウンドが狭くなる。広いグラウンド、子供達が十分にサッカーや野球ができる場所を確保することが必要ではないかということがあった。A案の場合は、玉里小学校に隣接している農地を購入し、広いグラウンドにするべきではないかという意見があった。また、視察を行なった千葉県成田市の校舎は、古い校舎と新しい校舎を繋げたものだった。改修・新築をした校舎と全てが新築の校舎を比べた場合、全てが新築の校舎の方がより良い活動ができるのではないかと意見もあった。また、A案はB案よりも10億円近く予算を少なくできるのではないかと、予算面を考え、A案もひとつの案だといった意見

があった。全体的にはB-②案が良いのではないかという意見が多くあった。前回の準備委員会では、新築3階建てのために校舎北側が日陰になってしまうのではないかということがあったが、近隣の3階建て校舎等を見ると、それほど影響はないのではないか。また、子供達が十分活動できる広いグラウンドを考えると、この図面では一番グラウンドが広く取れるように見られるといったことがあった。ここでは、まずグラウンド、小学生は小学生、中学生は中学生の活動が確保できるということを中心に話し合いがされた。

委員長 続いて、北小学校区お願いしたい。

委員 配置構成計画についての的を絞って話し合いを行なった。まず、A案は全体的に耐震性や補強の面で問題があるのではないか、古い校舎と新しい校舎を使うため、10年後に既存校舎に改修工事が入る、金額にあまり差がないので、新しい校舎を使用したいという考えで意見がまとまった。次に、B-①案は欠点として、150mトラックとなり、狭い。また、校舎の後ろにデッドスペースが出来てしまう。駐車場として使用するとした場合にも開放的でないといった意見が出た。グループ協議の結果としては、B-②案が良いだろうということになった。それについては後で述べたいと思う。B-③案は、グラウンドが北向きとなるため、冬の時期は寒い、採光も取れないのではないか。また、現玉里小学校のグラウンドを使用する際に距離が遠くなってしまふ。校舎に入るまでの動線が長くなってしまふ。児童生徒用の門、玉里中学校の旧正門は、下り坂になっているため、自転車を下りる時に危険が伴うのではないかということがあり、出入口として不向きではないかという意見が出た。C案は、欠点として授業で使いづらい。特に移動をする時、そういった意見が出た。また、建設中に玉里小学校の児童に影響が出てしまふ。また、完成してから道路を渡らなくてはならないという欠点があるのではないかということになった。この学区ではB-②案を採用してほしいということになった。良い点は、校舎の配置として北側に位置している箇所が少ないため、採光も良好ではないか。またグラウンドの使い勝手も良い。ただ、道路の日陰が少し気になるという意見が出た。また現玉里小学校のグラウンドを使用する際、道路の上を通す案が出ているが、玉里北小学校では道路の下を通す隧道になっている。そういったものであれば金銭的に、もしかすると安くなるかもしれない。安全面も考えて隧道案もあるのではないかといった意見も出た。そういったことからB案を推しているが、提案として、今の校舎を壊してそこに新しい校舎を建てるといふような意見も出たので、紹介したい。ただ、欠点として仮設校舎を使用する、お金がかかってしまふということがある。

委員長 東小学校区お願いしたい。

委員 東小学校区では、施設整備方針は問題ないということで、配置構成計画を中心に話し合った。他の学区でもあったように、千葉県成田市を視察した際、新築の校舎と既存の校舎を使用した場合には規格や造った時の感覚が違う

ため、地域代表や保護者代表にも違和感があったという思いがあった。そのため、出来ることならば全て新築で造っていただきたいという考えとなった。そういったことを考え、B案かC案となった。C案は前回の準備委員会においても費用の話もあったと思う。また、グラウンドへの移動も大変となるため、様々なことを考えると難しいのではないかと考えた。ただ、西側の土地は買っておきたい、今後のことを考えると便利ではないかという意見も出た。後で買うよりは、一気に買ってしまった方が良いのではないかという意見も出た。B案の意見が中心だが、素人の意見として聞いていただければありがたい。基本的にグラウンドは200mトラックを取りたい。ただ、①、②、③どれが良いだろうと考えた場合に200mトラックを取ることだけを考えると、校舎やグラウンドの日当たりの問題が難しいのではないかと考えた。やはり駐車スペースは極力大きく取りたいということになった。1年生から9年生が在籍するので、小学校を基準とすると保護者が1.5倍の人数、中学校を基準とすると3倍の人数になる。職員と保護者と考え、少しゆとりを持ちたいという考えがある。B-②案では、黒板の位置によって、教室内では朝から昼にかけて黒板にずっと日が当たっているか、全く当たらないことになってしまう。例えば、西側に黒板が位置すると、東の日を午前中斜めに浴びながら、常に明るい状態になってしまう。逆に東側の場合、黒板に全く日が射さないことになる。校舎に日が当たることだけを考えれば良いが、授業に不便が出てくるのではないかと考えた。このグループに玉里中学校の先生もいるが、B-①案は現玉里中学校の校舎に似ている向きだと思ふ。その場合、日当たりに関しては、午前中がとても暖かいので良いという話だった。ただ、B-①案はグラウンドが150mしか取れない。素人考えだが、本校舎と特別棟で2棟になっているという話だったと思う。例えば、1棟の校舎として位置を既存校舎にできるだけ寄せ、特別校舎部分を2階建てとし、B-②の位置付近に上手く移動すれば、グラウンドは200m取れないだろうか。また、B-①案の小体育館の位置を検討していただき、メインの校舎を長くし、既存体育館と新築校舎の間、なるべく端に近い方に小体育館は入らないだろうかということも考えた。素人考えなので可能、不可能があるかと思うが、可能であれば200mトラックを造れると良いのではないかと考えた。基本的には、校舎がL字型になってしまっても仕方ないのではないかと考えた。なので、西から北にかけてのL字型のような校舎で何とかグラウンドを確保するという考えられると良いのではないかと考えた。心配していることは、200mトラックと採光、光の入り方、小体育館の位置をずらすことによって改善できないかということ、駐車スペースを確保するというのを念頭に入れて、もう少し変更できないかという意見だった。

委員長 結果としては、どの案になったのか。

委員 結果としては、B-①に近い。何とか200mトラックを取れるようにできないかということ。

委員長 発表いただいた中では、施設整備方針は、玉里小学校区から国際・情報、水族館等、霞ヶ浦を利用した玉里地区の自然、安全性ということも付け加えていただきたいという話があった。

配置構成計画については、玉里小学区と玉里北小学校区ではB-②案、玉里東小学校区ではB-①案にL字型校舎などを加えてほしいという意見があった。これから事務局の方で更に進めていくことになるが、3つの学区で発表していただいた。B-②、B-①という意見が出たが、委員から意見をいただきたいと思う。意見をいただいて、1つの方向にまとめたいと思います。

委員 修正案を作ったが、プロジェクターで映せるか。

プロジェクターで投影

委員 これがB-①案。既存の校舎を残したまま新しく全ての校舎を造ろうとしている案となっている。例えば、既存校舎を取り壊すと、新校舎を既存校舎の位置に移すことができる。そうすると、大きなグラウンドを既存のグラウンドの位置に造ることができる。ただ、駐車場が非常に狭い。しかし、考えてみてほしい。民間企業の工場などの駐車場は、隣の敷地から歩くことが一般的だと思う。建物のすぐ近くに駐車場が多くあることは贅沢ではないかという気もするので、私は小学校側に駐車場を造り、道路を横断してもそれほど困らないのではないかと思う。こういったこともできるのではないかということも考えた。ただ、この場合、既存の建屋を取り壊し、仮設校舎をどこかに造らなくてはならないため、工事が大変ではないかと思う。建物が既存の中学校の位置が良いということであれば、そのようなレイアウトもできるのではないかと思う。その場合、200mトラックを取れるスペースが確保できるのではないかと思う。ただ、仮設校舎を使用しなければならないといった問題があると思うが、レイアウトとしては良いのではないかと思います。

委員長 今の意見もあったが、その他はいかがか。

委員 2対1で劣勢なので、説明を付け加えたいと思う。B案が基本ということで提案した。B-②案としなかった理由は、校舎の向きによって日当たりの問題があるのではないかということ。この案の場合、北西向きの教室を造ると思う。朝は東の窓から光が入ると思うが、2校時、3校時には太陽がほとんど真上となるため、教室に日が入ることはないのではないかと思う。昼近くになり、やっとなら西側から光が射してくると思う。午後はずっと光が射し、西日が射すような校舎になるのではないかと思う。そういった点から、授業を行うメインとなる午前中の光、温度の問題を考えた場合、B-②案に不安を感じる。B-①案の修正を提案したい。前回の準備委員会で提示された校舎の造りは、前列に管理・普通教室エリア、後列に特別教室エリアという2列

構成になっていた。2列構成になっているため、広いグラウンドが取れないということだと思う。現玉里中学校の校舎の前に造ることになると思う。2列構成の校舎を1列の校舎とし、管理・普通教室エリアを基本的に大きく造る。西側に位置している小体育館を中体育館との間の位置に置き、校舎をなるべく横に長い形とし、足りない部分、特別教室をL字型、B-②案の校舎の位置に造る。そうした場合、特別教室については3階建てまで必要ないと思う。本校舎は3階建ての大きいものを造り、道路側は低階層、2階建て以内になるかと思う。そうした場合は、現玉里中学校の校舎と同じように日当たり良好の明るい教室となり、光の問題は有効ではないかと思う。それをなるべく現玉里中学校の校舎へ近づけ、仮設校舎を設置せず、現校舎を解体した跡を駐車場とすると、プラスαの費用もかけずにすむのではないかと思う。そういったことから、このグループではB-①案にまとまった。

委員 意見の中に駐車場という話があったが、全校が集まる分の駐車場を取っておく必要はないと思う。現状では、中学校において保護者会等を行なう際、保護者はグラウンドに駐車しているので、駐車場のスペースを広く取るために校舎を前に出す必要はないのではないかと思う。また、採光については、現玉里小学校の校舎の向きと若干は違うが、似ているのではないかと思う。玉里小学校の校舎の使い勝手等を聞くと良いのではないか。多少は温度差が出るかと思うが、玉里地区は空調が入っているので、多少の寒暖には対応できるのではないかと思っている。グラウンドの使い勝手を考えた場合、正方形に近い方が非常に使いやすい。グラウンドを横に長くしてしまうと、サッカーや野球などの競技をする時に若干狭くなると思う。小学校のスペースを使わないのであれば、小学校のスペースを駐車場とし、グラウンドを広く取った方が良いのではないかと思う。そういったことから、私たちのグループではB-②案が良いということになったので、B-①案とともに検討いただきたいと思う。また、先ほどもあったように階段状に造るといった、様々な造り方があり、校舎の採光等はそれによっても変わってくると思う。空調や材質、ガラスを多く使えば光は入りやすくなるといったこともあると思うので、設計の際にも多少の余地はあるかと思うので、併せて検討いただきたいと思う。

委員長 他にはいかがか。

委員 全般的に費用については、あまり考えてないと思う。「おおいに金を使ってやろうではないか」といった感じだと思う。要は新築でいこうということ。私は市議会議員なので、できるだけ費用をかけない方が良いという考え。なので、準備委員会の結果は、「金はふんだんにある。よし、それで良い。」ということなら良いと思う。なので、B-①は良いのではないかと思っている。ただ、新しく造ることは誰にとっても良いと思う。しかし、費用についてはよく配慮しないとにならないと思う。一般市民は、「なんでこんなに金使うんだよ」と必ず出るので、そこを配慮していただきたい。

委員長 B-①案またはB-②案ということで話し合っているが、先ほど採光の話が出ていた。現在の玉里小学校の状況はいかがか。

委員 現在の玉里小学校は、授業が始まるころには日が射し、明るい。家庭科室が1階の正門に一番近い位置にあり、その付近に大きなヒマラヤ杉があるため、日陰で暗い感じはあるが、2階以上の部屋については、暗いという状況はない。西日の話もあったが、子供達がいる時間は、ずっと日が照っているような状態。カーテンを閉めないと暑いといった明るい状況となっている。また、空調もあるため、寒いという状況もなく、子供達が登校する時に空調を入れ、10時の中休みまでには暑いために消すといったの状況で生活している。

委員長 特に問題はないということによろしいか。東小学校区の方々はいかがか。現在の玉里小学校では採光に問題はないということだった。

委員 配置案では現玉里小学校の校舎よりも若干北向きになるが、明るさについては意見にあったとおりでと思う。そのため、B-②案も明るさについては問題ないと思う。採光については、校舎が北に向くほど午前中に影響が出るのではないかと思う。また、B-②案は道路側の日陰の問題もあり、他の要素も絡んでくると思った。駐車場について、1点聞きたいことがある。スクールバスを使うかどうかは今まで問題になっていない。もし、正門から入り、駐車場付近をバスに使うとすると、そこがロータリーになるのではないかと思う。そうなった場合、そのスペースは使えなくなるのではないかと思う。そのため、新たな駐車場をどこかに設置するということになると思う。それについて教えていただきたいと思う。

委員長 スクールバスの件については、北小学校区のグループ協議でも意見が出ていた。話していただきたいと思う。

委員 北小学校区の場合、学校まで一番遠い箇所が国道355線沿いのカインズホーム、サンクス付近となっている。そこから北小学校までの距離と小中一貫校までの距離があまり変わらないので、スクールバスを通さなくても大丈夫ではないかという意見が出た。東小学区は分からないが、北小学校区は大丈夫だろうという意見が出た。

委員長 北小学校区は必要ないだろうということだった。今のところは北小学校区ではスクールバスは考えていないので、ロータリーなどについても考えていないということ。

B-①案またはB-②案といった意見が出ているので、ここでどちらにするかをある程度決めなければならないと思う。挙手で採決を行いたいと思うが、その前にこれだけは言っておきたいということはあるか。

委員 保護者の立場から思ったが、建設中に在学している児童生徒に対して、あまり不便がないような形にしていっていただきたいという想いがある。ちょうど私の娘が中学3年生、受験の時が大変な時期だと思うので、そこについてはよく考えていただきたい。

委員長 工事は約2年間かかることになる。在校生の勉強の支障にならないように十分考慮していただきたいということだった。よく考えていただきたいと思う。

では、挙手をお願いしたい。

B-①案が良いと思う委員は挙手をお願いしたい。

B-②案が良いと思う委員は挙手をお願いしたい。

B-②案に挙手した委員が多いので、意見に出たことをよく検討していきながら、その方向性で進めていただければと思う。

委員 工事期間中のことを考えると、B-②案が一番条件が良いと思う。既存建物に手を加える必要がなく、工事箇所と分離ができ、グラウンドもある程度使える。

委員長 今まで多くの意見が出た。そのような意見を基にしてこれから事務局で進めていただきたいと思う。本日の議事については以上としたい。

【その他】

次回の委員会開催について

平成29年2月27日（月）19：00～

玉里保健センター 1階 集団検診室を予定

20：29 閉会